

〈隷書〉（木簡風）



吉田成美先生書

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉



小島秋聲先生書

□ 流雲は華月を吐く（唐・韋応物）

次号予告「夏雨染成千樹緑 暮風散作一江烟」

〈行書〉

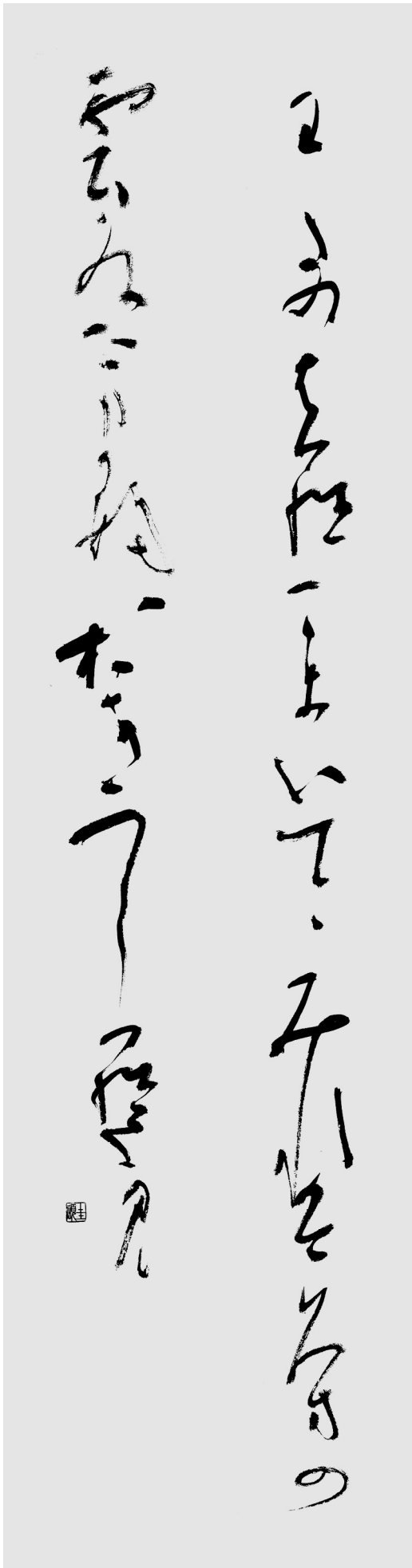


清原大龍先生書

▽ 流れる雲は白々とした月を雲間から出して見せる。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 王<sup>わ</sup>多<sup>た</sup>の者<sup>は</sup>羅<sup>ら</sup> こ<sup>き</sup>支<sup>き</sup>いて、み<sup>は</sup>れ盤<sup>は</sup> 久<sup>く</sup>方<sup>か</sup>の 雲<sup>に</sup>ゐ<sup>ま</sup>二<sup>に</sup>万<sup>ま</sup>可<sup>か</sup>婦<sup>ふ</sup> お<sup>お</sup>き<sup>き</sup>つ<sup>つ</sup>し羅<sup>ら</sup>な<sup>な</sup>見<sup>み</sup>

わたの原 こきいて、みれは 久方の 雲ゐにまかふ 沖つ白波

〈百人一首七十六〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

▽ 枯樹賦

落角摧牙重々碎錦  
片々真花紛披草樹

落角摧牙重々碎錦片々真花紛披草樹

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

海邊に日暮して  
海くれて鴨の声ほのかに白し

□ 松尾芭蕉の句 海邊に日暮して 海くれて 鴨の声ほのかに白し

△ 手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） — 6月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



井之上 南 岳 先生書

□ やまは  
蛙の声に  
なりけり  
良寛の句  
紙面の上下に  
余白を多めに  
とり、明るく  
落ちついた作  
品を求めた。  
線質や章法に  
工夫してみ  
て下さい。



渡 邊 大 嶽 先生書

□ 「済<sup>さい</sup>世<sup>せ</sup>」  
世の弊害を除  
き、人民を救  
い助けること  
参考手本にと  
らわれず、字  
典を引いたり、  
今月の古典課  
題「枯樹賦」を  
参照したりし  
て、リズム良  
く書きましょ  
う。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横  
の出品票  
は作品の  
左下に貼  
って提出  
下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 氣<sup>き</sup>実<sup>み</sup>つれば則<sup>すなわ</sup>ち病<sup>やまい</sup>去<sup>さ</sup>る (宋・歐陽修「本論」)  
氣力が充実すれば、病も治癒する。



次号予告「物各從其類」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 氣<sup>き</sup>実<sup>み</sup>つれば則<sup>すなわ</sup>ち病<sup>やまい</sup>去<sup>さ</sup>る (宋・歐陽修「本論」)  
氣力が充実すれば、病も治癒する。



次号予告「物各従其類」

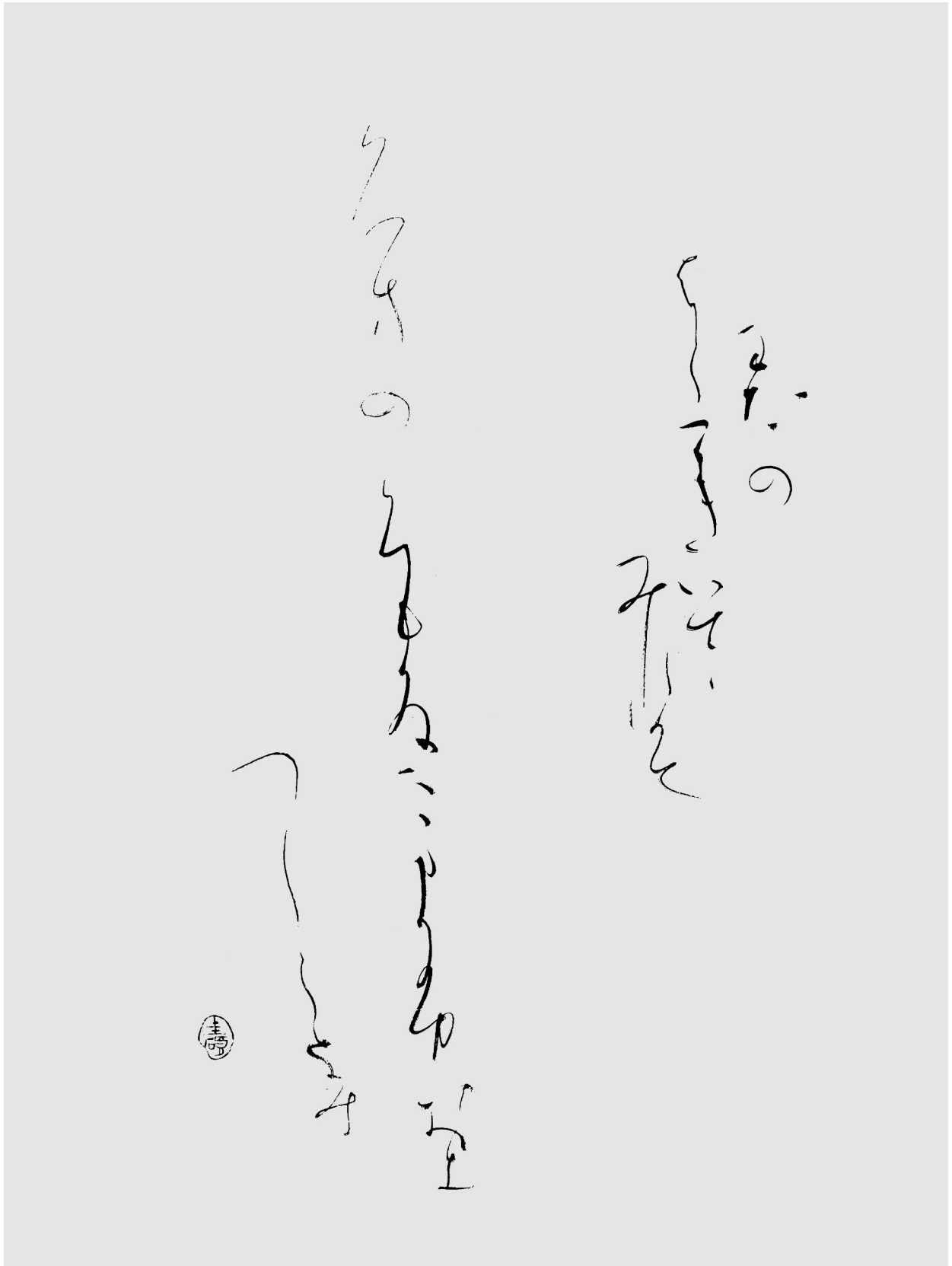
吉田成美先生書

半紙随意参考手本 — 6月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

王<sup>わ</sup>たの者<sup>は</sup>ら こきいて、みれ盤<sup>は</sup> 久方の くもる二<sup>に</sup>万<sup>ま</sup>可<sup>か</sup>布<sup>ふ</sup> お支<sup>さ</sup>つしらなみ



わたの原 こきいて、みれは 久方の 雲<sup>う</sup>ゐにまかふ 沖<sup>お</sup>つ白<sup>は</sup>波

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

北村恭久子の句

短夜の

夢朝の月

抱くような



※ 出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

大竹美喜先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



□ 簡<sup>かん</sup>

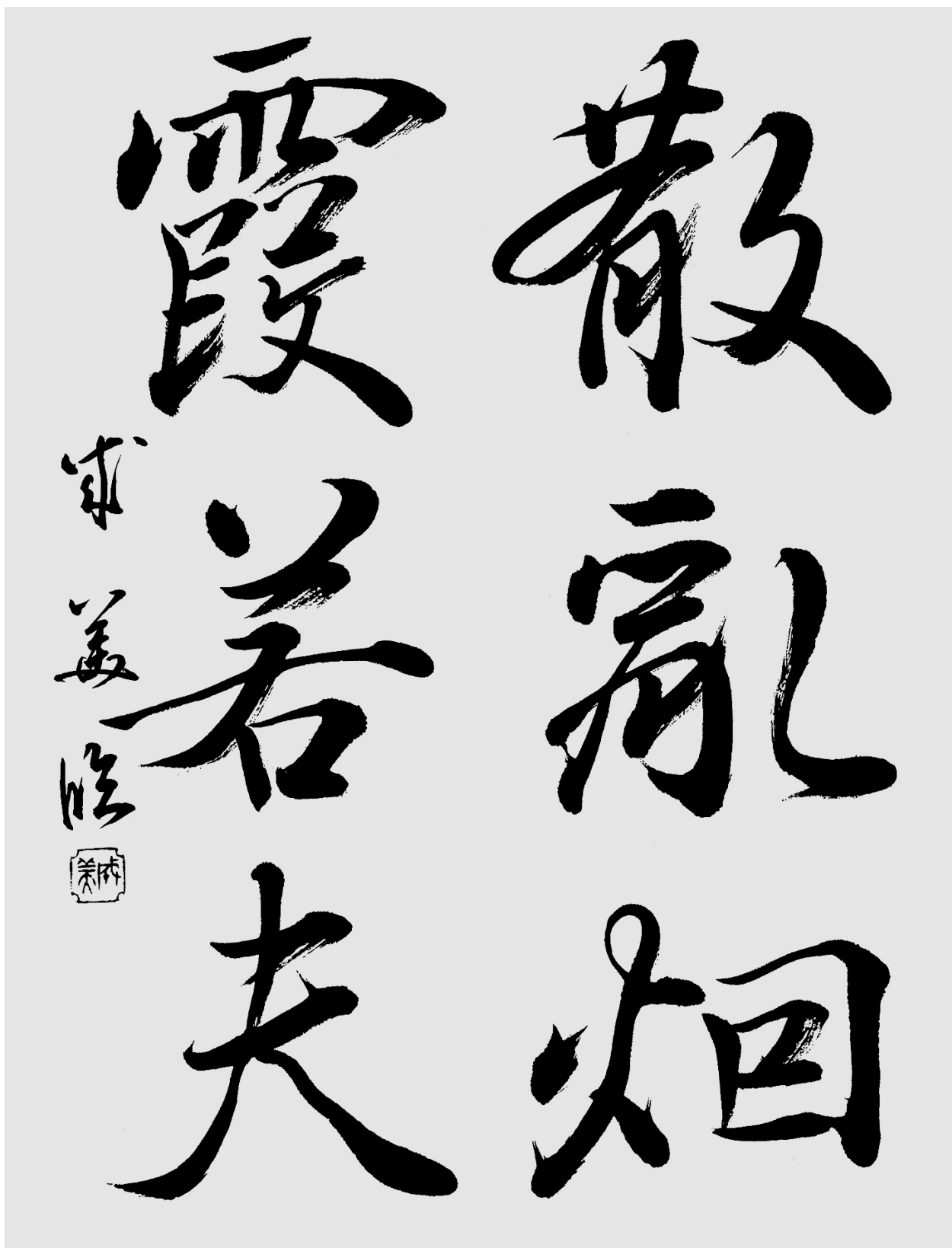
儉<sup>けん</sup>

〔晋書〕・元帝紀 つつましく驕<sup>おご</sup>らないこと。

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

懐の広さやまわりの余白を意識し、線に抑揚をつけて書こう。



「散亂烟霞若夫」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

八代 天草 玉名 別府 中津 佐伯  
 都城 延岡 霧島 鹿屋 薩摩川内 那覇

姓  
号

|      |    |    |    |
|------|----|----|----|
| 鹿屋   | 都城 | 別府 | 八代 |
| 薩摩川内 | 延岡 | 中津 | 天草 |
| 那覇   | 霧島 | 佐伯 | 玉名 |

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

お父さんが丹精こめた庭は 今年も紫陽花が美しいことでしょう 趣味の写真が市展に入選した  
と聞き 元気な様子を安心してます 帰省の折には素敵な作品を見せてくださいね 優香  
紫陽花が美しいことぞう 趣味の  
写真が市展に入選したと聞き 元気な  
様子に安心します 帰省の折には  
素敵な作品を見せてくださいね  
優香

お父さんが丹精こめた庭は 今年も紫陽花が美しいことでしょう 趣味の写真が市展に入選した  
と聞き 元気な様子を安心してます 帰省の折には素敵な作品を見せてくださいね 優香

伊良子 喜代先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

# 書譜

拝啓 新緑の候、社会人としての生活も慣れ  
きたこと、存じます。  
我が家は四月に移転し、丁度一ヶ月経た  
とろです。引越の際はお手伝いをいただき、  
誠にありがとうございました。  
とろでゴールデンウィークは楽しく過ごされま  
した。私は、自宅近くの公園で子供たちと砂遊びを  
していました。子供は汚れるのも構わず、長いと  
遊び続けるもので、感心いたしました。  
向暑の折からご自愛くださいませ。 敬具

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一般硬筆部参考手本＜B＞ — 6月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

|     |                   |                  |                    |                   |                   |
|-----|-------------------|------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
|     | いそ、真夏の開放感は一層はじける。 | て夏場の水を蓄える。梅雨があれば | りだ。稲を育ち、畑を潤し、山野にしみ | や暮らし、精神に欠かせないひと月余 | 嫌わしがちな季節だが、この国の文化 |
| 段 級 |                   |                  |                    |                   |                   |
| 氏 名 |                   |                  |                    |                   |                   |

小 畠 秋 聲 先 生 書

(形や注意する点に氣をつけてゆへり書いふ。)

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

白い雲

小学 4 年

木かげ

小学 3 年

つばめ

小学 2 年

かさ

ようねん・小学 1 年

紅花摘み

中学 2・3 年

光る木立

中学 1 年

感謝の心

小学 6 年

飛行する

小学 5 年

坂元紫香先生書

△条幅 1/4 四尺画仙紙半折 1/4 : 68 cm × 17・5 cm ▽

□「め」は「一画目と二画目の書き始めの位置に気をつけましょう。濁点はないねい。」

めづば

小学二年

次号予告「かみなり」

□「ハネ」は筆の軸をまわさないように気をつけて、のびやかに書きましょう。

かさ

ようねん・小学一年

次号予告「せみ」

坂元紫香先生書

□「あめかんむり」の形に気をつけ、や、逆の台形を意識しながらバランスよく書きましょう。

雲

小学四年

次号予告「はすの花」

□文字の配置に気をつけ、左払い・右払いをゆつくりと伸びやかに書きましょう。

木

小学三年

次号予告「光」

吉田成美先生書

小学五年

次号予告「流星」

飛行

□「飛」は中心たて画の両側の空気に注意し、字形は三角形になるように書きましょう。

小学六年

次号予告「夏祭」

感謝

□「感」は上下のバランスに気をつけ、「謝」は、ほぼ二等分出来るように書きましょう。

秋永春霞先生書

中学一年

次号予告「銀河」(行書)

本立

□楷書と異なる点画の方向や形の変化を理解し、筆脈を意識して書きましょう。

中学二・三年

次号予告「流れる雲」(行書)

紅花

□楷書とは異なる行書での部首の筆順の変化を理解し、流れよく伸びやかに書きましょう。

吉田成美先生書

7 7 1 4 4

|     |  |   |  |     |  |   |  |
|-----|--|---|--|-----|--|---|--|
| 段 級 |  |   |  | 氏 名 |  |   |  |
| に   |  | に |  | に   |  | に |  |
| を   |  | は |  | な   |  | か |  |
| な   |  | か |  | し   |  | し |  |
| は   |  | ち |  | し   |  | し |  |

小学一年

1 + 2 = 3

[illegible]

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題書いてもよい。但、審査は従来通りです。)

①立てて よこせんに つける  
②はねる  
③なめにはらう  
④とめる

小学三年

二 王 开 形

小学二年

|             |             |              |            |
|-------------|-------------|--------------|------------|
| 何度も成功や失敗をくり | 返しがから工夫を重ねる | と自分にとって最高のもの | のを実げんてきます。 |
| 氏名          |             |              |            |

小学五年

|                                                                             |    |    |
|-----------------------------------------------------------------------------|----|----|
| 千年以上の昔から人々は、<br>のようなものを集めて何を見<br>て、心が気持ちよくなるに<br>たのびました。古本を読む<br>人々の心は、とても。 | 段級 | 氏名 |
|-----------------------------------------------------------------------------|----|----|

①おひすくならしじ上下の  
よいせんにひける

ノ、人々何年

古典(りてん)

一 トシ以以

②にめる

左がわを出す

一 門曲曲典

③上にづき出る

④左右に展ぐ書く

坂元紫香先生書

はねないで下の  
よこせんにつける。①はねる

可歌 ②はねる  
ノル ③つぎ出ない  
独 ④つぎ出ない

一廿其其基

十一音を基本としてゐます。

と、この「ス」が「ル」の音数をむす

の詩の形<sup>“</sup>です。それは五・七・五・七・七

人々に愛され続けてきた日本独特

短歌は、およそ千三百年もの昔から

學 士

。 十 卅 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 卅 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

減り、其の大部分、時間である。

その「時間」を気にする回数が多い

★その上、集中して、

例元は、あなたが「V」に夢中に

イ ヨ ハ 活 減 減  
「○」はねる  
口 田 門 門 冂  
「○」はねる  
厶 戸 盾 威 威 感  
「○」左上にはねる